



地域医療連携室だより



新年のご挨拶

病院長 山口誓司

新年明けましておめでとうございます。

昨年の新年は新型コロナウイルスの第3波の真っ只中で入院患者の対応に追われていましたが、今年はオミクロン株の発生の報告があるものの、大阪はびきの医療センターとしては落ち着いた状態で新年を迎えました。

しかしながら、オミクロン株の強い感染力により感染者が急激に増加しているのが気にかかっています。大阪府の軽症中等症病棟の体制もフェーズ1から一気にフェーズ4に引き上げられました。しかしながら、現在の感染者は小児や比較的若年者が多く、無症状～軽症患者が多い印象です。ただ、ワクチン接種の3回目がまだ進んでいない状況での高齢者へのブレイクスルー感染で重症化症例が出ないことを祈るばかりです。日本での新型コロナ感染症発生から3年目になりますが、早く以前のようなマスクをしなくてもよい生活に戻れることを願っております。



さて、当センターでは新病院の建築工事が順調に進んでおります。4階、5階部分まで鉄骨が組み上がってきて、新病院の全体像が間近に感じられるようになってきており、新病院への期待感がより強くなってきています。今年度末には竣工し、2023年5月に新病院へ移転予定です。新病院は低層の6階建てとなり、駐車場と同じ面となる2階部分が外来部門で3階に手術室、ICU、HCU、検査部門、4階5階部分が一般病棟となり各フロアは4つの病棟から構成される予定です。6階にはリハビリテーション部門を予定しております。2階の放射線科部門にはそれぞれ2台のMRIとCTを設置予定で地域の先生方からの依頼に柔軟に対応できる体制を整えていきます。さらに患者総合支援センターでは予定入院患者さんの外来から入院、また退院へのスムーズな引き継ぎが行われるように、患者サポートの充実に向けた体制を構築する予定です。

地域医療支援病院となり、昨年度から開始しました地域医療支援病院運営委員会でのご意見を参考にさせて頂き、当センターの特色である呼吸器・アレルギー診療のさらなる充実をはかり、一般診療においても南河内地域での医療ニーズに応えるための体制を整えていく予定です。2月からは遅ればせながらオンラインでの紹介患者さんの予約をとれるようシステムが稼動し始めることになっており、地域予約の利便性は向上するものと期待しております。今後も病診連携、病病連携を深め、南河内地域の医療水準向上に寄与していきたいと考えております。

本年も宜しくお願い申し上げます。



地域医療連携室からのお願い

◆インターネットによる診療・検査予約システム利用申込みを受付中！！

地域の診療所様との「病・診連携」の一環として、インターネットを利用した診療・検査のオンライン予約サービスがまもなく導入されます。本サービスにご加入いただければ、診療所様は土日を含めた24時間365日、いつでもご予約が可能となります。先月号で申込書を同封させていただいておりますが、お手続きには申し込み原本が必要となります。再度返信用封筒とあわせて申込書を送らせていただきますので、ぜひお申込みくださいますようお願いいたします。



Internet VPN



1. 予約申し込みに“インターネット”を利用します。
2. 24時間365日いつでも簡単に予約ができます。

*予約約カレンダーで『空き枠』がすぐに確認できます



同封しております新規申込書に必要事項をご記入のうえ、返信用封筒にてご投函をお願いいたします。

3. 診療所様は“無料”でご利用頂けます。*お手続きが必要です。
4. 案内状や情報提供書をプリントアウトできます。

大阪はびきの医療センター 地域医療連携室

直通：072-957-8030 代表：072-957-2121

FAX：072-957-8051

地域連携室室長：川島 佳代子
マネージャー：秦 順子